



安井光子議員



高齢者の肺炎予防ワクチンの公費助成の実現を

問

高齢者の肺炎球菌ワクチン【関連記事5面・】の公費助成を、県では飛島村を含み9市町村が（予定または）実施している。市も実現してほしいがどうか。

 高齢者の肺炎の最大原因となる「肺炎球菌」から、感染を予防する任意接種のワクチン。効果は5年とされ、接種回数1回で費用は約8千円。

小児用ワクチンを優先したい

答 健康推進課長

小児用ワクチン助成を優先したいと考えている。

子どものための保育所運営を

問

保育所について聞く。
(1) 1歳児18人が一つの部屋になつている保育所もある。質のよい保育体制に改善してほしいがどうか。


(2) 4月以降、途中入所希望者、臨時採用職員は何人か。
(3) 延長保育の場合、保育士配置基準は昼間と同じか。
(4) 保育士の非正規化が進み、臨時を採用しなければ保育所運営が回っていかなくなっているのではないか。
(5) 子どもの伸びやかな成長のため、今のすばらしい公立保育所をずっと守ってほしいがどうか。


新弥生で6カ月児保育を検討中

答 児童課長

(1) 複数の保育士が支え合い対応するメリットもある。全体スペースの中で、今のような状況で行っている。

(2) 途中入所児童は24人増え、それに対応して8月末までに臨時を10人募集し配属した。

(3) 子どもの数が減れば職員1人のこともあるが、基本的には最低基準の配置【】を念頭に置き、対応している。

 ゼロ歳児3人に1人、1:2歳児6人に1人等の職員配置を基準とし、例えば(1)のケースは3人配置を基本としている。

答 人事秘書課長

(4) 国の指針に基づき、市職員総数を357人とする定員適正化計画を定めている。


保育士は4月現在98人で、19年に比べ3人増員、23年度採用予定は退職者4人に対し8人で、正規保育士数


建設中の新弥生保育所を見学する議員ら【9月14日】



は減らさず増員し、努力している。

答 市長

(5) ゼロ歳児については、新弥生保育所【】は6カ月児から対応していきたい。市には10保育施設があるが、市民の協力を得て、しっかり運営していきたい。

 老朽化に伴い、既存敷地西隣に拡張し、児童館、子育て支援センター等との複合施設を建設中。利用開始予定は保育所の一部が12月中、その他施設は22年度末頃。